

会費改定にあたりのご挨拶

保護者の皆様には、当クラブ活動に多大なるご支援・ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

クラブチームの「継続と更なる発展」のために今回のお願いをさせていただきました。

来年度で当クラブは3年目になります。スタート当時は参加者が1名だったところから、現在では100名を超えるチームとなりまして、昨年はチームから個人で全国大会出場、団体では北信越駅伝出場と多くの思い出をつくらせていただきました。

また、普段の活動では、チームとして扇状地マラソンへの出場、各小学校の運動会では、これまでにない子供たちの成長が感じられた、とお言葉をいただきました。

未経験の状態からのスタートでしたが、ここまで大きなクラブチームとなりました。

これも関わってくださる保護者の方々の力添えなどあったからであると日々感じているところであります。

このようなチームの代表として活動させていただいていることを誇りに思い、幸せを感じております。

このクラブチームが大きくなるにつれ、このチームをずっと継続させていきたい、と強く思うようになりました。

子供たちで「将来ここで働くので、雇ってください」と言われることがあります。冗談で言っているとはわかっていても、私にとっては何にも変え難い、最高の言葉でした。

今後10年は、残り続けていける基礎を固めていかなければならないと感じております。

このチームは「子供たちの運動神経を伸ばし、未来の可能性を広げる」というコンセプトを掲げて運動神経促通に取り組んでおります。

運動神経促通のために定期活動の充実に伴い、必要な知識・ノウハウをこれからも積極的に学び、取り入れていかなければならないと思っております。

そのために今後早急に解決していかなければならない課題として、「コーチ・スタッフを含めた人材の育成・雇用」があります。

現在も小学生から市民ランナーまで、ライフスタイルに応じた様々な運動機会を提供しております。様々なニーズに合った人材を配置させていただいておりますが、基本、その方の熱意とボランティア精神に甘えてしまっているのが現状です。

また、指導・事務・広報・イベント企画運営等を一人でこなしてはおりますが、さらなる発展を考えると、個々に専従できるスタッフを置くことが急務であると感じています。

現在のスタッフのスキルアップはもちろんのこと、今後新たな人材の雇用も考えなければなりません。

それによって、保護者の皆様には、より安心して大切なお子様を預けていただけるようになり、なによりも子供たちにとっては、「運動神経促通」と「満足度向上」を見込めるものと思っております。

あくまで個人のクラブチームではありますが、活動の継続には、収支の安定は必須であると考えています。

2023年度は、まず皆様に会費改定にご理解頂き、その後事業の拡大、企業や行政からの委託指導の獲得へと進めていく予定であります。

プロチームではない、一個人のクラブチームが継続していくためには、地域の方々との繋がりが一番重要であります。

我々のチームは、「人と人との繋がり、スポーツの輪」を広めていくことによって、より地域に根付いた、「必要とされるクラブチーム」へと成長していきたいと思えます。

そして近い未来、富山県の課題である「運動不足・睡眠不足」の解決に一助になるような企業へと発展できるよう、皆様にはこれまで同様のご協力とご支援をお願いし、会費改定のご挨拶とさせていただきます。

R U N L I F E

代表 山下 優嘉